

平成23年(2011年)4月1日発行

ご入学おめでとうございます

学長からのメッセージ

旺盛な好奇心をいつでも胸に

新入生諸君、日本工業大学に入学おめでとう。これから4年間、じっくりとものづくりに取り組み、格闘し、そして喜びを噛みしめていただきたい。本学は諸君の期待に応える環境を十分に整えている。

これをつくりたい、デザインしたいというものがすでにある人もいれば、これから見つけていきたいという人もいるだろう。先生、先輩や仲間など、これから始まるであろう様々な出会いを通じ、大いに刺激を受けて、ものづくりの世界を切り拓いていってほしい。

さて、ものづくりと一言にいっても、製品をつくる、家を作る、空間をデザインする、プログラムを開発する、システムを機能させるなどをはじめ、多彩な世界が広がっている。また、それぞれの技術を習得する方法も多様である。

学を打ち出している。それは、理論やアイデアを具体的に実現し、かたちに仕上げる技術を習得するための学びということができるだろう。

キャンパスを歩けば、自由なものづくりに打ち込むための施設として、例えばスチューデントラボがあり、カリキュラムでは工房教育があり、そこからカレッジマイスターが輩出している。

大学とは何かといえば、自ら道を拓くための学びの場である。自分にどんな力をつけていくのかを探り続ける4年間ともいえるだろう。



学長 柳澤 章

をめざすものである。そうする中で問題発見力も磨かれていくものだ。

さらに、何のために、なぜ、それを作るのか、ということも追求していただきたい。技術とは、人間のため、地球のため、未来のためのものでなければならぬはずだからだ。

まずは緑豊かな広いキャンパスを、すみからすみまで散策してみよう。最先端の実験装置から歴史的遺産まで面白い、もちろん、キャンパスライフを快適に過ごすための施設も充実している。エンジニアへの第一歩は旺盛な好奇心を持つことであり、エンジニアの成長は、好奇心を絶やさないことにある。

諸君がプロに成長するために本学をここでん使いたいと思ってくださったならば、これほど喜ばしいことはない。よきスタートを切り、健闘されることを祈る。

理事長からのメッセージ

自主的な学びの取り組みと豊かな学園生活の構築を！

本日でたく百有余年の伝統ある本学の仲間入りをされた諸君、私はその学園を代表して、ふかく慶賀の意を表します。

はじめに申述べておきますが、本学園のモットーは、『誠実・明朗・勤勉』を旨とし、この精神は開学以来、いささかのゆらぎはありません。この中身は、あえて説明不要でありましょうが、どうかその心構えの枠組みを、胸中深く畳み込んでおいて下さい。

さて、明日から大学生活をはじめに際して、最も大切な事柄を指摘しておきますが、大学というところは、いわば「叩けよ、さらば開かれん！」というたとえのごとく、自ら果敢に学習や研究に取り組んで行くこととする者にとっては、本当にやり甲斐のある、すばらしい先生方や実験研究装置が揃っている所でありませぬ。

どん置いてさぼり食うほかに、義務教育である小中学校、引いてはその延長上にあるような高校時代の学習環境とは、まったく異なるという点を、はっきり認識しておいて下さい。

さらに、最も重要な事柄は、真の「知識」や「方法論」を修得するためには、それこそ身をもって事に当たりしななければならないという学びを踏襲するほかに、という点であります。いずれ直面すると思いますが、本学園は「実工学」を標榜し、いわば観察・実験・観察という学びのサイクルを重視致しております。理由は、それが実際に社会で役立つ知識や知恵を醸成するといふ深い教育哲学にあります。

お気づきのよう、大学内には類例を見



理事長 大川陽康

ない立派な『工業技術博物館』が存在致しますが、それも左記の学びの一端に連なる装置。ぜひ陳列の機器に自分の眼で大いに学んで下さるよう、切望致します。

しかしながら、かような学びだけでは優れたエンジニアや研究者になるには不十分です。つまり諸々の技術は人間のために益するものでなくてはならず、それを見据えるためには、人文科学関係の教習や生きた人間関係に学ぶことも必要不可欠です。どうかその点を肝に銘じて図書館やクラブなどを活用、分厚いヒューマンな素養を身につけて下さい。

ともあれ、この経済的に厳しい昨今、貴い学費を工面されるご父兄の心労は並大抵ではありません。ゆえに諸君は、学問ができることの幸せを感じ取り、真に中身の濃い学究生活を送って下さるよう希望してやみませぬ。ご健闘を祈念申し上げます。

キャンパス整備速報 18号館完成、玄関工事完了



[右]18号館外観(周辺整備前) [左上]18号館内部 [左下]2/28に行われた18号館竣工式の様子

■新棟(18号館)竣工 平成22年4月16日(金)の起工式から10ヶ月の工事期間を経て、平成23年2月28日(月)に竣工した。延べ床面積約1450㎡。2階建の建物は、本学の生活環境デザイン学科 足立准教授の設計・監理による。1階には間仕切壁の少ない多目的ホールや展示スペース等を中心とし、2階は研究室・実験室がある。1階ピロティは、現在改修中の9号館1階ロビーへと続くアプローチにもなっており、並設する2棟を利用する電気実験センターと創造システム工学部の学生等にとって、移動しやすい位置関係を成す。外観は(写真右)2階外廊下の中庭側に何色かのガラススクリーンを設けたつくりとなっている。棟内の天上照明と外部廊下照明等は省エネに配慮してLEDを採用。これは、本学の「環境に優しいキャンパスづくり」の思想が強く出ているものであり、オールLED化照明器具設置

の建物は本学で最初の取り組みである。また、バリアフリーに対応して中央エレベーター・2階トイレには多目的トイレを完備し、利用する学生等やオープンキャンパスに訪れるであろう高校生にも優しい設計の建物となっている。キャンパスのほぼ中央に位置し、誰もが目に触れることもあり、日本工業大学を印象付ける新しい建物となるであろう。

一新されたロータリー周辺

専門職大学院だより 自社技術を見つめ直し、目からウロコの1年間に

研究科長・教授 柳澤 章

技術力をマネージし、よつである。大田区、墨田区の高い企業価値を創造する。激変する市場環境において企業経営の根幹に関わるこの課題に取り組むべく、本年度も第一線で活躍されている皆さんを新入生としてお迎えした。

本学専門職大学院(MOT)は、とくに中小企業の方々とキャンパスの外で知見の共有を図っており、昨年10月、学生会館で第2回中小企業経営シンポジウム(東京の「地の利」を活かした中小企業の経営戦略)を開催したのもその一

つである。大田区、墨田区を、親がわが子を見る目で踏まえながら、戦略的経営について語り合った。

今日成長著しいアジアを自らの市場とすべく、地の利のよい技術資源と連携、協働、活用を図り、ブランド力を強化するなどの戦略を持つていく。そうした取り組みを進めるには技術をマネージする経営センスが欠かせないのである。

MOTで学ぶ1年間とは、技術をコアにビジネスを行う方にとって、自らの資源を再評価し、再定義する機

会といえる。いわば、技術制振鋼板を使った洗濯機が消費者の心を捉えた。夜でも近所迷惑にならないからだ。新興国で売れ込もうとしたら、音がしないと洗濯機を買ったことを近所に自慢できないと人気がなかった、という話がある。

目からウロコが剥がれ落ちる1年間を、今年度の皆さんにも体験していただきたい。高いポテンシャルを持つ日本の中小企業が活躍することが、日本を元気にするなよりの戦略だと私は信じている。

市場が求めるものは一樣

新入生へ贈る言葉

教務部長からのメッセージ

夢がかなう学びの場へ

ようこそ

教務部長 波多野 純



君たちは最高の大学に入學した。自信をもっていい。日本工業大学は、皆さんにとって最高の大学になる。大学生活を満喫しよう。

君たちは最高の大学に入學した。自信をもっていい。日本工業大学は、皆さんにとって最高の大学になる。大学生活を満喫しよう。

君たちは最高の大学に入學した。自信をもっていい。日本工業大学は、皆さんにとって最高の大学になる。大学生活を満喫しよう。

君たちは最高の大学に入學した。自信をもっていい。日本工業大学は、皆さんにとって最高の大学になる。大学生活を満喫しよう。

学科主任からのメッセージ

努力の道に一步を踏みだそう

機械工学科主任教授 竹内 貞雄



入学おめでとうございませう。皆さんは、これから大学で4年間学ぶことで飛躍的に能力を伸ばすことが可能です。大学では高等学校以上に学んだ学力を伸ばすだけでなく、社会人として活躍するために必要な思考力や判断力、他人を動かして協調することができるようになることを目指して努力を続けることが大切です。

入学おめでとうございませう。皆さんは、これから大学で4年間学ぶことで飛躍的に能力を伸ばすことが可能です。大学では高等学校以上に学んだ学力を伸ばすだけでなく、社会人として活躍するために必要な思考力や判断力、他人を動かして協調することができるようになることを目指して努力を続けることが大切です。

君の目指す道を築いて!

創造システム工学科主任教授 渡部 修一



入学おめでとう。あなたは何のために大学に入學したのであるか? 入学すると安心してしまおうか、当初に抱いていた希望あふれる気持ちを見失う人も少なくありません。そのため、ここで改めてお聞きしているのです。

入学おめでとう。あなたは何のために大学に入學したのであるか? 入学すると安心してしまおうか、当初に抱いていた希望あふれる気持ちを見失う人も少なくありません。そのため、ここで改めてお聞きしているのです。

リアルな体験を増やそう

情報工学科主任教授 片山 茂友



新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。今、期待や不安で一杯のことと思います。情報の技術者を目指す皆さんに望みたいことは、学生時代にリアルな体験をできるだけ積むことです。

新入生の皆さん、入学おめでとうございませう。今、期待や不安で一杯のことと思います。情報の技術者を目指す皆さんに望みたいことは、学生時代にリアルな体験をできるだけ積むことです。

新しいことにチャレンジを!

生活環境デザイン学科主任教授 川村 清志



入学おめでとうございませう。皆さんの幾人かと面談した折、「インテリアを考えた方がいいな」という言葉を聞いたことがあります。そのためには、豊富な言葉や表現のおおあさんが家の中で現を知る必要があります。

入学おめでとうございませう。皆さんの幾人かと面談した折、「インテリアを考えた方がいいな」という言葉を聞いたことがあります。そのためには、豊富な言葉や表現のおおあさんが家の中で現を知る必要があります。

エコの達人になろう

環境工学科主任教授 佐藤 茂夫



入学おめでとうございませう。ものづくり環境学科は、環境に配慮した製品の設計手法や製造工程の省エネ化などを学び、ものづくり分野において環境関連の仕事ができる力を養います。

入学おめでとうございませう。ものづくり環境学科は、環境に配慮した製品の設計手法や製造工程の省エネ化などを学び、ものづくり分野において環境関連の仕事ができる力を養います。

若さを大切に

電気電子工学科主任教授 高橋 明遠



入学おめでとうございませう。電気電子工学科は、皆さんを歓迎します。これから始まる大学生活は、人生の中でも特に貴重な時期といえます。

入学おめでとうございませう。電気電子工学科は、皆さんを歓迎します。これから始まる大学生活は、人生の中でも特に貴重な時期といえます。

実り多き学生生活を

建築学科主任教授 白石 一郎



入学おめでとう。建築学科一同、皆さんを心から歓迎します。みなさんは、四月から大学生活をスタートするわけですが、社会情勢が不透明で計画・設計系、構造・材料系、および設備・環境系などの分野の学問があります。

入学おめでとう。建築学科一同、皆さんを心から歓迎します。みなさんは、四月から大学生活をスタートするわけですが、社会情勢が不透明で計画・設計系、構造・材料系、および設備・環境系などの分野の学問があります。

挑戦、実行あるのみ

共通教育系主任教授 寺尾 裕



新入生の皆さんへ入学おめでとうございませう。皆さんは若い。元気が力もあふれています。これからの生き方次第でいくらでも未来は変えていけます。

新入生の皆さんへ入学おめでとうございませう。皆さんは若い。元気が力もあふれています。これからの生き方次第でいくらでも未来は変えていけます。

「自分の強み」の発見と「就職力」の向上

学生支援部長 梅崎 栄作



新入生の皆さん、入学おめでとう。新しい命の芽生えを感じられる季節の中で、皆さんを本学に迎えられることを嬉しく思います。

皆さんは、これから過す大学生活に期待と不安を持って本学に入学して来たことと思います。不安については、私たち教職員ができるだけ早く解消できるように支援しますので、安心してください。

さて、これからの4年間の大学生活は、皆さんの人生の基礎を固める最後の機会といっても過言ではありません。この時期をどのように過ごしたかが皆さんの将来に大きな影響を与えます。なぜなら、3年後にはほとんどの皆さんは、就職すなわち職業の選択をしなければならないという、人生の大きな節目を迎えるからです。この職業選択がスムーズに行えるかどうかは皆さんの一生を左右するといっても過言ではありません。

では、どのようにすればスムーズな職業選択ができるのでしょうか。それは、大学生活において、いろいろな体験をし、自分が何に向いているかを考えることです。このことにより、自分の得意とするところ、すなわち「自分の強み」の発見につながります。「自分の強み」が見つければ、それを

紙上オリエンテーション 自ら考え、行動し、充実した大学生活を送ろう！

新入生の皆さんは、大学生活を始めるにあたって、期待と不安を抱えていることでしょう。そこで、皆さんがスムーズで快適な大学生活を送るための心構えや行動の仕方についてまとめてみました。

■まずは、オリエンテーションをよく聞こう
入学当初は、いろいろなオリエンテーションが行われます。オリエンテーションとは、皆さんが新しい大学生活という環境に適応できるように方向づけを行うということです。その内容はさまざまですが、全て皆さんに必要な情報だと考えてください。例えば4月17日(日)は教務部や学生自治会など、4月18日(月)には各専門学科や学生支援部のオリエンテーションが行われます。(下表参照)

な女子学生のオリエンテーションは、別途行います。何か分からないことがあるとき、オリエンテーションなど大勢の前では質問しにくいかもしれませんが、その場合は、オリエンテーション後に先生に個別に相談したり、学科によっては個別相談の場を設けていますので、そちらを利用してください。

■「学修支援センター」を活用しよう
さらに、学科のオリエンテーションとは別に、学修支援センターでも相談を受け付けています。相談コーナーは、月曜から金曜の午前11時から午後6時までの時間帯に利用することができます。

学科(事務室)と関連施設

※オリエンテーションの実施場所は配布の案内等で確認してください

■履修申告の方法について
大学では自分で勉強したい科目を選び、履修申告をして受講します。科目名だけではどんな内容かわからないので、授業開始日から10日間程度は試験期間として履修申告せずに受講できま。とにかく分からないことは、フレッシュマンゼミの担任の先生に相談してみることです。皆さん一人ひとりの興味や進路希望などに合わせて、親切に相談のつてくれます。

■フレッシュマンゼミで充分な理解を
オリエンテーションが終了するといよいよ授業が始まります。その第一歩が「フレッシュマンゼミ」です。このゼミでは各学科を20人前後の少人数クラスに分けて、各クラスに担当の教員が配置されます。1年次の春学期は、全ての学科で必修科目として位置づけられており、単位が取得可能です。その内容は、大きく2つに分けられます。1つは大学での学び方を理解し、身につけること。もう1つは各学科の専門分野について理解することです。

■大学生生活は人間関係づくりの場
さて、大学生活という新しい環境を楽しく過ごすためには、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会等に積極的に参加してみましょう。また興味のある研究室を訪ねてみるのも良い方法だと思います。

■研究室へも積極的に訪問
研究室に正式に所属するのは3年次あるいは4年次になってからですが、興味があればどんどん訪問して先輩から話を聞いてみましょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果をあげた先輩も沢山います。またオープンキャンパスの時に興味をもった研究室があれば、訪問してみたいかか

新入生の入学当初の主なスケジュール(2011年度)

4月	主な実施内容
17日	・入学式 ・学生証の交付 ・オリエンテーション(教務部、学生自治会)
18日	・オリエンテーション(各専門学科、学生支援部) ・新入生に対する調査(サーベイディ)
19日	・授業開始

※学生証の交付、各証明書の提出は4月17日です。
※健康診断の日程は延期します。
※学修支援センター、英語教育センターのオリエンテーションは中止します。

窓口紹介

さあ、大学生活がスタートしました。新しい環境の中で色々と疑問に思うこと、不安を感じる事があれば、ここで紹介している窓口を訪れてみてください。それぞれの分野の専門スタッフが親身に対応してくれることでしょう。



学修支援センター
准教授 田中 佳子

★ご入学おめでとう★将来の夢に向かって一歩前進ですね。学修支援センターは大学生活を充実するために皆さんのお手伝いをします。友達作り、単位獲得対策、自炊テクニック上達から趣味を極めるまで。自分の可能性を広げるとき、ちょっとくじけたとき、いつでも立ち寄ってください。



学生支援課
課長 吉見 健二

学生支援課はロッカーや拾得物の扱い、構内乗り入れ自転車の登録、学生証の再交付、学割証の発行等の他に、奨学金、クラブ活動等学生生活に関するあらゆる事を扱っています。困ったことや、分からない事があったら、学生支援課員に気軽にお声掛けください。



教務課
課長 栗本 収

教務課では、学生諸君が授業を受けるための履修登録や成績に関するサポートを行っています。これらの手続きは大変重要ですので、特に注意を払うよう普段から心がけてください。また、各種証明書の発行等も行っていきます。積極的に教務課を活用してください。



NITクリエイト
業務部長 新井 孝志

NITクリエイトは、できるだけ価値が高く質の高いサービスを学生の皆様に提供していくことを目的に設立された会社です。学生食堂、コンビニ、カフェテリアを運営する他、アパート斡旋、文具・書籍販売、保険代理店、学内清掃・警備等の業務も行っていきます。是非ともご利用ください。



LCセンター
センター長 椋田 實

新入生の皆さん、スマートフォンやパッドでデジタル教材や電子書籍を活用していますか。LCセンターは研究・教育活動と学生同士の交流の場です。インターネットを活用するパソコンやオンデマンドで見られる映像メディア、グループ学習ができるゼミ室、軽食ができるカフェなど、皆さんの施設です。



スチューデントラボ
所長 宮澤 肇

スチューデントラボは、全学科・全学年の諸君が夜8時まで利用できる「ものづくりの殿堂」です。機械・電気・木工等様々な加工のための機械や道具を取り揃え、個人での利用、グループでの利用を待っています。常時、専門スタッフによる個人指導も受けられるので初心者も安心して利用できます。



健康管理センター
センター長 城戸 卓男

健康管理センターは、常時健康相談や急病またはケガをした時の応急処置、及び運動指導を行っています。毎週金曜日は、校医による健康相談も実施しています。どうぞ、体調がすぐれない等は気軽においでください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行いたします。



学生相談室
相談員 川合 耕一郎

大学生活での行き詰まりは、心細く孤独な経験です。一方で、それは自立や将来の夢へと歩き出すための糸口ともなりましょう。あらゆる悩みに対して、心の専門家が一緒に考えて、解決の方向性を見つけてお手伝いをいたします。プライバシーは厳守いたしますので安心していらしてください。



就職支援課
課長 初見 範子

自分の人生を充実したものにできるかどうかは皆さん一人ひとりの大学生活をどう過ごすかによって大きく左右されます。自信を持って大きく社会へ第一歩を踏み出すために、1年生から就職支援を行っています。進路について相談したい時は、就職支援課員に気軽に声を掛けてください。



用度・管財課
課長 磯 雄二

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。用度・管財課は、授業や実験・実習で使用する物品の購入や、建物・設備等の資産管理を行う部署です。皆様の教育研究環境を後方からサポートいたしますので、本学の恵まれた教育環境を十分に活用し、充実した大学生活を過ごしてください。



経理課
課長 倉島 清隆

経理課では、主に学費に関する事、またセミナーハウスの利用料、追試験料、各種費用の現金出納に係わる業務を行っています。学費についてのご相談(延納含む)、両替等お気軽に窓口にお越しください。窓口は午前9:00から午後4:00まで(昼休みを除く)笑顔の職員がお待ちしております。



総務課
課長 林 祐司

入学おめでとう。大学時代は、諸君にとってかけがえのない4年間です。諸君の本学での飛躍をお祈りいたします。総務課では、①学友会館に関する事、②後援会に関する事、③施設の時間外の使用に関する事などを担当しています。それ以外のことであってもご相談ください。



英語教育センター
准教授 田中 隆治

技術を生かし世界で活躍できるプロジェクト・リーダーを目指す皆さんの夢を受けとめ、力を育み、生きた英語が学べ、いつでも英語が話せる、学内留学ができる場所、それが英語教育センターです。新しい世界が広がるプログラムを用意してスタッフ一同、皆さんの来訪を心待ちにしています。

日本工業大学学業奨励奨学金 受給者(新2年生・3年生・4年生)

平成23年度の日本工業大学学業奨励奨学金受給者が決定した。

本奨学金は、平成17年度入学生から適用されているもので、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な学生に給付される。6年目となる本年度は、新2・3・4年生、計107名が採用された。採用者は、

以下の通りである。

また、本奨学生は、エクセレント・ステューデント(E S)とリマーカーブル・ステューデント(R S)に区分され、学科および学年ごとに選考される。E Sには50万円、R Sには20万円の奨学金が給付され、学費に充当される。

エクセレント スチューデント

学年	2年生		3年生	
	氏名(出身校)		氏名(出身校)	
機械工学科	龍野貴稜(下館工業)	松浦豊(八戸工業)	小山寛人(足立学園)	栗城太輔(浦和工業)
ものづくり環境学科	榎田泰幸(水戸工業)	木村大樹(足利工業)	砂田浩紀(高校卒業程度認定)	古橋吉祥(春日部共栄)
創造システム工学科	門馬悠介(クラーク記念国際)	中山典久(新座総合技術)	並木俊一(春日部工業)	関口卓嗣(足利工業)
電気電子工学科	肖釜洋(山東省済州市第一中学)	森田和也(総和工業)	鹿島祐太(熊谷工業)	須田正英(川越西)
情報工学科	松本真太郎(伊奈学園総合)	増田真也(開智)	小松由樹子(水戸工業)	柴垣寿摩(池田工業)
建築学科	板垣光星(熊谷工業)	西川博美(安曇川)	橋本温子(郡山)	三宅由紀恵(越谷東)
生活環境デザイン学科				

学年	4年生	
	氏名(出身校)	
機械工学科	川腰裕之(日本工大付属)	逸見健太(松本工業)
電気電子工学科	星間祐嗣(高校卒業程度認定)	松本高志(上田千曲)
建築学科	小原早織(浦和東)	関口顕(足利工業)
システム工学科	齋藤佳祐(小金井工業)	小島康寛(上尾沼南)
情報工学科	宮野広史(久喜工業)	谷良太(栃木工業)

リマーカーブル スチューデント

学年	2年生		3年生	
	氏名(出身校)		氏名(出身校)	
機械工学科	横山貴之(春日部東)	町田成紀(日本工大駒場)	館野和貴(下館工業)	清水翔太(前橋工業)
ものづくり環境学科	新後開亮太(高崎東)	岡島悠介(飯田工業)	梅津裕介(長井工業)	後藤雄平(酒田工業)
創造システム工学科	福島祐樹(熊谷工業)	松本実(蔵前工業)	南郷詢次(庄和)	加古賢一(桶川)
電気電子工学科	柴田一秀(高校卒業程度認定)	森正太(鷲宮)	長尾巧(西武台千葉)	山崎翔平(浜松城北工業)
情報工学科	阿部祐士(水沢)	戸室拓也(佐野松陽)	小野寺龍(大船渡東)	細刈夏未(佐野松陽)
システム工学科	畑山和弥(春日部工業)	小林裕太(つばさ総合)	下間秀(今市工業)	棚澤卓史(進修館)
建築学科	樋口勇気(水沢工業)	後藤祐太郎(神辺旭)	中村徳彦(藤代)	大貴克(鹿沼東)
情報工学科	沼倉和生(越谷総合技術)	久保木彩(浦和工業)	真鍋史彦(日本工大駒場)	星野翔太(越谷総合技術)
情報工学科	大塚雅広(作新学院)	菅野竜也(熊谷西)	松本健(久喜工業)	山口祐人(越谷東)
情報工学科	金子伸輝(久喜工業)	林威(福建省福州市第二中学)	田中玲次(四日市工業)	湯浅和也(福島工業)
建築学科	村井春樹(大宮工業)	横山公太郎(科学技術)	伊藤篤(下館第二)	菅原志志(盛岡市立)
建築学科	梶村愛美(飯田長姫)	藍嶋弘充(足利工業)	石井裕大(水戸工業)	内田健太(田無工業)
生活環境デザイン学科	長山明日香(足利工業)	平澤雄平(春日部工業)		

受験生向けメールマガジン配信中!

■PC用バックナンバーページ
http://www.nit.ac.jp/magazine/

■PC用登録ページ
http://www.nit.ac.jp/info/Mailmaga_entry/

■携帯用バックナンバーページ

■携帯用登録ページ

◆佐野健一准教授 創造システム工学科 昭和46年1月16日生まれ。平成5年3月大阪府立大学理学部生物学科卒業。

◆水澤直哉教授(大学院技術経営研究科) 昭和30年9月9日生まれ。昭和54年3月31日大学外国語学部英語学科卒業。(有)フィロソフィア代表取締役。

◆田中玲次准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆高瀬浩史准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆田中実講師(建築学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆石田武志講師(ものづくり環境学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆劉愛講師(共通教育) 昭和54年11月13日生まれ。平成16年9月城西国際大学大学院人文科学研究科比較文化学専攻博士。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅野竜也准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんを日本工業大学の一人として迎え入れることをうれしく思います。

さて、先輩として皆さんに心掛けてほしいことがあります。それは「考える」ということです。大学は自由ですが、全て自己責任です。講義の履修登録や各掲示板の確認、課題やレポートの提出等やることは多く、それを忘れれば卒業できない可

能性もあります。最悪の場合を回避するために、自分分がするべきことを考え、行動していかねばなりません。また、出来て当たり前のことでももちろんないし、さらに自分の力を上げていくのであれば先を見据えて進むようにしましょう。厳し

いように聞こえるかもしれませんが、それが大学なのです。しかし、一人で行うには辛いことも多く、時には止めたくなる時もあるでしょう。そこで、皆さんには仲間を作ることをお勧めします。仲間がいれば助け合い、共に心身を研磨できます。学生自治会では4月1日か

よいでしよう。もし、学生生活で不安や相談がありましたら、気軽に中央執行委員会室にまで来てください。学生によって全て運営しているのと同じ視点から助言や助力が出来ます。

最後に、皆さんがこの4年間、充実した素晴らしい学生生活を送れるよう心から願っています。

平成21・22年度の就職環境は「就職の水戸期再来」と新聞等で報じられていたが、平成23年度の景気はこれまで不振であった輸出が増加しつつあることに伴い企業収益は好転し、就職環境が好転しそうだ。本学では、2月22日(火)から7日間、本館にて

204社の企業を招いて学内合同企業説明会を開催した。就職希望者の約8割が参加し、盛況であった。今後、2月に加え、4月、10月にも開催を予定している。昨年度はこれら説明会に参加した企業に就職者の半数が就職したので、これら説明会に参加することによってひとりでも多くの学生が内定を得て欲しい。

1月14日(金)、情報工学科実験研究棟5階会議室でEMS推進協議会が開催された。この協議会は、大学と学生のコミュニケーションを図るために実施されており、今回で7回を数える。学生は自らが組織する学生環境推進委員会で環境活動に取り組んでいる。

協賛会では、大学、学生双方からそれぞれのEMS活動について取り組み状況が報告された。その後は今後の環境保全活動への取り組み

みや一般学生が参加できる活動などについて積極的に意見交換が行われた。大学、学生双方の今後のさらなる活動に期待したい。

専攻博士課程単位取得満期退学。女性学修士。前日本工業大学留学生別科講師。

◆梅谷篤史講師(共通教育) 昭和52年2月5日生まれ。平成16年3月東京工業大学大学院理工学研究科基礎物理学専攻博士課程修了。博士(理学)。前理化学研究所協力研究員。

◆小笠原直範事務職員(総務部総務課) 昭和61年11月29日生まれ。平成23年3月日本工業大学大学院工学研究科システム工学専攻修士課程修了。修士(工学)。

◆草間信太郎事務職員(教務部入試課) 昭和63年4月9日生まれ。平成23年3月日本工業大学工学部情報工学科卒業。

◆村田晃輔講師(機械工作センター) 昭和28年5月3日生まれ。前日本ノズル精機(株)勤務。

◆昇任(4月1日付)
◆石田武志講師(ものづくり環境学科) 准教授に昇任
◆高瀬浩史講師(情報工学科) 准教授に昇任
◆田中実講師(建築学科) 准教授に昇任

1月12日(水)、サウジアラビア王国大使館文化部門文化アタッシェ、イサム・フカーリ氏が来学した。イサム氏はほか2名の文化部門職員はまず柳澤学長を表敬訪問し、本学サウジアラビア王国政府派遣留学生の

現状や本学の対応等について意見交換をした。その後本学の留学生たちとの昼食を兼ねた懇談会に参加し、出席した10数名の学生の近況報告に耳を傾け、勉学や生活に関する様々な相談に応じた。

2月18日(金)、宮代町進修館において「キッズエコサミット2011」が開催された。宮代町立の7小中学校の5、6年生を中心に約600人が参加。本学からは、ものづくり環境学科・佐藤茂夫教授がアドバイザーとして、船橋昭一名誉教授が教育委員会委員として第1回から参加している。第1部では、学校や家庭での優秀な環境活動に対する表彰として町長賞、努力賞、特別賞の授与、特別賞受賞者の発表が行われた。第

2部では「いきいき学校! 環境活動報告」と題して各小中学校から環境活動やその成果についての発表が行われた。各校とも工夫を凝らしたプレゼンテーションを行い、会場が笑いに包まれる場面もあった。最後に佐藤教授が全ての発表についての講評を行い、「ユニークな取り組みやアイデアが数多くあり、感心した。これからも継続して取り組んでほしい」と締めくくった。

◆樋口勝准教授(創造システム工学科) 昭和47年2月25日生まれ。平成9年3月東京工業大学大学院理工学研究科博士(前期)課程修了。博士(工学)。滝田研輔代表取締役。

◆樋口勝准教授(創造システム工学科) 昭和47年2月25日生まれ。平成9年3月東京工業大学大学院理工学研究科博士(前期)課程修了。博士(工学)。滝田研輔代表取締役。

◆滝田謙介准教授(創造システム工学科) 昭和46年9月14日生まれ。平成11年3月北海道大学大学院工学研究科システム情報工学専攻博士(理学)。前理化学研究所協力研究員。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

◆菅原志志准教授(情報工学科) 昭和54年11月13日生まれ。平成20年3月埼玉大学大学院理工学研究科博士(後期)課程情報科学専攻修了。

町代ヨリ 宮代 170号

ゴミの分別「違いのわかる学生」になろう!

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。自然環境が豊かな宮代町で楽しい大学生活を満喫してくださいね。

さて、宮代町内で生活するにあたり注意したい点があります。それはゴミの分別です。市町村ごとに分別方法が異なりますが、宮代町は自然環境に配慮したまちづくりを行っているため、ごみの分別が徹底されています。4月から宮代町で1人暮らしをスタートする方は、町から配布されるゴミ分別表をよく確認して指定収集日にゴミを出してください。日本の生活に慣れた留学生にも優しく教えてくださいね。

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。